 佐久市議会だより

ギカイの窓

2023年(令和5年) 11月1日 No.74

特集

**議員報酬増額及び議員定数削減に関する
条例改正案をそれぞれ可決**

トピックス

令和5年9月定例会

一般質問 16名の議員が市政を問いました

令和4年度決算を認定しました

11/11(土)

令和5年度意見交換会

詳しくは18ページを
ご覧ください。

表紙

青い波頭

撮影者：mj 場所：荒船山

議会だより表紙大募集中!!

詳しくは19ページを
ご覧ください

24人とする条例改正案を可決

議員定数改定までの経過

R2.12.4

佐久市特別職報酬等審議会から市長へ答申
附帯意見として、「議員定数の削減を検討されたい」

R3.5.19

議会活性化特別委員会を設置し、協議・検討

R4.1~2

議員定数市民アンケート

市民1000人(無作為抽出)を対象に実施(回答者441人、回答率44.1%)

アンケート結果抜粋

Q 現在の議員定数26人について

多い	少ない	ちょうど良い	わからない
40%	4%	26%	30%

Q 適当だと思う議員定数は何人(多い又は少ないと回答された方)

20人	22人	23人	24人
31%	16%	14%	12%

※回答5%以上抜粋

R4.5.31

佐久市男女共生ネットワークとの意見交換会
男女共生ネットワーク15名参加



市民との意見交換会の様子

R4.10.9・18

議員定数に係る市民との意見交換会
市民延べ40名参加

R4.11.10

議会活性化特別委員会(採決)

定数25人に賛成	6名
定数24人に賛成	2名

→ 議員定数を1人減の25人とすることに決定

・ 常任委員会(8人×3委員会)+議長(1人)=(25人)
が好ましい などの理由

R4.11.17

議会活性化特別委員会の採決結果を議会運営委員会に報告
全会一致でなかったため、議会運営委員会において協議継続を決定

佐久市議会議員定数を2人減の

R5.2.8

議員間討議（採決）

定数25人に賛成	7名
定数24人に賛成	14名
態度保留	5名



議員間討議の様子

議員定数24人の理由

- ・本会議での採決は、議長を除く全議員で行われるため、議員定数は奇数(23人)+議長(1人)=偶数(24人)が好ましい。
 - ・全国の類似自治体の平均議員数を参考にした。
 - ・人口減少・少子高齢社会にある中、行財政にも配慮し、定数を削減しながらも、行政の監視機能の維持強化を図れる議員定数とした。
- 以上のことを総合的に勘案し、議員定数を2人削減し、24人とする。

R5.3.8

議会運営委員会（採決）

定数25人に賛成	2名
定数24人に賛成	7名

→「議員定数を2人減の24人とする」議会運営委員会の方針を次期委員会へ申し送り決定

R5.7~8

議員定数条例改正案提出までの検討経過を市民の皆様にお伝えするため市民説明会を全11回にわたり開催

→詳しくはこちらをご覧ください



R5.9.8

議会運営委員会で、前期委員会からの方針「議員定数24人」を受け、議員定数条例改正案を令和5年9月定例会に提出することを決定

R5.9.28

議員定数を2人減の24人とする議員定数条例改正案を議案提出採決の結果
賛成多数（賛成19人・反対6人）で原案可決

議員定数を24人として

令和7年4月執行予定の市議会議員選挙から施行

議員報酬増額の条例改正案を全会一致で可決

議員報酬改定までの経過

議会の課題

議員のなり手不足の要因の一つとして議員報酬が低いという問題がある。

議員の活動が保証される議員報酬が必要

報酬額は

(平成31年4月現在)

役職	月額	年収
議長	461,000円	7,694,090円
副議長	383,000円	6,392,270円
議員	349,000円	5,824,810円

県内同規模自治体との比較

(平成31年4月現在)

市名	議員定数	人口	面積	報酬月額
佐久市	26人	98,867人	423.51km ²	349,000円
飯田市	23人	101,187人	658.66km ²	407,000円
安曇野市	22人	97,581人	331.78km ²	360,000円

R元.5.8

全議員の総意として、報酬審議会の開催・具体的な議員報酬額を市長に申入れ

R元.10.1

市長から佐久市特別職報酬等審議会に議員報酬の額の改定を諮問

R2.12.4

佐久市特別職報酬等審議会から市長へ答申

- ・議員報酬の額は、諮問のあった金額のとおりとする

役職	月額(うち増額分)	年収 (答申のあった月額報酬を令和2年11月 時点で年収に換算した額)
議長	494,000円(増額33,000円)	8,244,860円
副議長	435,000円(増額52,000円)	7,260,150円
議員	405,000円(増額56,000円)	6,759,450円

附帯意見として

- ・報酬の増額にあたっては、議会において議員定数の削減を検討されたい
- ・議員活動が見えないという意見が多く出されたことから、引き続き、議会において議員活動の見える化のための方策を進められたい

R3.4.11執行

市議会議員選挙は無投票に → 本市議会においてもなり手不足が現実のものに

R5.8.30

議員報酬増額の条例改正案が提出される

R5.9.28

議員報酬条例改正案を
全会一致で可決
令和6年4月1日施行



本会議での採決の様子

令和5年 9月定例会

令和5年9月定例会を8月30日から9月28日までの30日間の会期で開きました。専決処分報告1件を承認のほか、議員報酬条例改正案や令和4年度決算認定など25件を可決及び認定しました。



提出された議案の詳細はこちらをご覧ください。

令和5年佐久市議会9月定例会 議案審議結果

議案番号	議案名	審議結果
68	専決処分の報告について	◎
69	佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
70	佐久市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
71	佐久市・軽井沢町清掃施設組合理約の変更について	◎
72	市道の路線認定について	◎
73	大型提示装置（中学校）の購入について	◎
74	大型提示装置（北部地区小学校）の購入について	◎
75	大型提示装置（南部地区小学校）の購入について	◎
76	令和4年度佐久市一般会計歳入歳出決算認定について	◎
77	令和4年度佐久市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
78	令和4年度佐久市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
79	令和4年度佐久市障害者支援施設臼田学園特別会計歳入歳出決算認定について	◎
80	令和4年度佐久市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	◎
81	令和4年度佐久市奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	◎
82	令和4年度佐久市環境エネルギー事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
83	令和4年度佐久市工業用地取得造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
84	令和4年度佐久市茂田井財産区特別会計歳入歳出決算認定について	◎
85	令和4年度佐久市国保浅間総合病院事業特別会計決算認定について	◎
86	令和4年度佐久市下水道事業特別会計の利益の処分及び決算認定について	◎
87	令和4年度佐久市環境衛生組合会計歳入歳出決算認定について	◎
88	令和5年度佐久市一般会計補正予算（第5号）について	◎
89	令和5年度佐久市一般会計補正予算（第6号）について	◎
90	令和5年度佐久市環境エネルギー事業特別会計補正予算（第1号）について	◎
91	令和5年度佐久市下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	◎
92	令和5年度野沢地区都市構造再編集中支援事業多目的広場整備工事請負契約について	◎
93	佐久市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	○

【結果の表示】 ◎全会一致で可決・認定・承認 ○賛成多数で可決（6ページに賛否一覧）

陳情の審議結果

番 号	陳 情 者	要 旨	審議結果
令和5年 陳情第8号	長野市若里1-5-26 長野県保険医協会 会長 宮沢裕夫	「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を 求める陳情	不採択

賛 否 一 覧

議案等番号 議案等略名	議員名	令和政策研究会							みらいの風			成和会			公明党		日本共産党		SAKUの風		議決結果							
		大塚雄一	木内義春	神津正	小林貴幸	清水秀三郎	土屋俊重	三石義文	城田領	柳澤潔	小林英朗	加藤夕紀子	吉川友子	高橋良衛	中條壽一	市川稔宣	小金沢昭秀	篠原勤	小林歳春	江本信彦		渡辺康徳	内藤祐子	小林松子	三石知志	高柳博行	塩川浩志	土屋啓子
議案第93号 佐久市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	原案可決
陳情第8号 「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情		■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	■	不採択

※「○」は賛成 「■」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席 議長（江本信彦）は採決に加わりません。

※これ以外の案件等は、全会一致でした。

議案第93号 議員定数条例改正案について

定例会本会議での賛成討論・反対討論の様子についてはこちらをご覧ください



議案説明 1:22:01～
 討論 1:28:31～
 採決 1:44:10～



議案第93号 議員定数条例改正案の採決の様子

常 任 委 員 会 審 査 報 告

条例案2件、事件案3件の計5件を審査。
全会一致で原案可決。

総務文教委員会 委員長 小林 歳春

佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正、佐久市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等、法律による個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

市内小中学校における大型提示装置の購入に当たり、製品を指定した理由は、中学校・南・北小学校で、異なる製品が納品されると学校間での融通や、教師が異動した場合操作性が変わってしまうデメリットを考慮し同等品を不可としたことを確認。各学校の教職員で構成されるICTプロジェクト委員会で数社の製品を操作し意見集約した結果を踏まえ選定。委員から、中学校も南北に分けて少しでも多くの業者に入札の機会を与えるべきであったとの意見が出されました。



市内小中学校に設置される大型提示装置を調査

事件案3件について原案可決

経済建設委員会 委員長 清水 秀二郎

佐久市・軽井沢町清掃施設組合規約の変更について、市道の路線認定について、令和5年度野沢地区都市構造再編集中支援事業多目的広場整備工事請負契約について審査し、原案可決と決しました。

市道の路線認定について、委員による現地調査を実施した上で審査を行いました。確認した6本の路線は、宅地分譲のための開発に伴い築造された路線であり、それぞれの路線について、市道認定基準に沿って回転広場を設けてあるものの、全て行き止まりとなっていることを確認しました。委員からは、「民間事業者の開発であるため、市が介入することは難しいと思うが、市道を築造する際は、周辺状況を勘案しながら、また、将来を見越して、できるだけ行き止まりのないような開発についてお願いしたい。」との要望が出されました。



新規道路認定箇所を現地調査

健康保険証の存続に関する意見書の提出を求める陳情を審査。

社会委員会 委員長 高柳 博行

健康保険証の存続に関する意見書の提出を求める陳情を審査。

採択すべきとの立場からは、資格確認書を発行するより、現行の保険証を存続させながら、マイナ保険証と併用していくのが煩雑とならない、データの紐づけ誤りから、安全性と信頼性が欠如している等の意見がありました。

また、不採択とすべきとの立場からは、高齢者や障がい者、認知症の方々にとって病歴や投薬の履歴が紐づけられるのはメリットが大きい、不安解消を国に求めることは必要だが、デジタル化を推進する上では、現行の保険証との併用はありえない等の意見がありました。
挙手採決の結果、本陳情は不採択と決しました。



老朽化により故障した温水ヒーターを現地調査（あいとびあ白田）

令和4年度の決算を全て認定しました 市民生活に直結する予算を可決しました



令和4年度決算認定12件、
令和5年度補正予算案3件について審査

予算決算委員会 委員長 土屋 啓子

令和4年度一般会計、特別会計等の決算認定議案のほか、補正予算案について、デジタル人材育成・就労支援プロジェクトに関する委託料の増額、子ども・子育て支援拠点施設運営に関する経費等の審査を行いました。

令和4年度の一般会計及び特別会計等の決算を全て認定しました。補正予算案についても、全議案可決により、一般会計予算の総額は約502億7千万円となりました。

審査に当たり、佐久平浅間小学校の教室増設の現状と利用状況、統合された臼田小学校の新校舎やグラウンドの現状確認及び給食センターの利用状況、臼田運動公園の整備の状況や入澤の災害復旧工事現場等の現地調査を実施しました。

それぞれの議案については、各分科会による審査を経て、予算決算委員会における審査結果を本会議で報告しました。



予算決算委員会での審査内容を本会議において報告

佐久平浅間小学校



児童の増加に対応するための教室等の増築を確認

臼田小学校



令和5年4月に開校した臼田小学校の校舎を確認

臼田総合運動公園



整備が完了した多目的広場、テニスコートを確認

災害復旧・入澤



令和元年東日本台風で被災した入澤区谷川の復旧状況を確認

決算認定・補正予算案については、3つの分科会において、より詳細な審査を行いました。

総務文教分科会 分科会長 小林 歳 春

決算認定に関し、企画費の私立大学地方創生事業費補助金について、少子化で大学も大変な時代になり、佐久大学も新学部において生徒が定員の半分程度という状況の中、誘致をした経過もあり、どのような協力をしていくのかを確認したところ、入学者を増やすため、高校での進路説明会等において、佐久大学の説明を増やすよう依頼しているとの答弁があり、分科員からは、市としても広報広聴課のシティブロモーションなどと連携して、大学のアピールができるよう検討を要望しました。

補正予算に関しては、情報化推進費のデジタル人材・就労支援対策業務委託料の増額について、今回参加できなかった方の来年度以降の参加につなげるための企画やイベントを実施するためであることを確認。分科員より具体的な企画があるか確認したところ、参加できなかった方のモチベーションを維持するため、今回受講されている方との意見交換を企画していくとの答弁がありました。



佐久消防署訓練塔における署員の訓練状況を確認

経済建設分科会 分科会長 清水 秀三郎

決算認定6件、予算案3件について審査を行いました。森林環境譲与税基金積立金について、残高が約1億円であることを確認し「これまで林道整備や林道台帳作成業務に充ててきた。現在、望月大木地区をモデル地区として森林調査を行い、どのくらいの木材資源があるかを把握している。今後は、当該地の森林整備を発注していくとともに、順次市内の森林整備に活用していきたい」との説明があり、分科員からは、「森林整備は河川整備と同じくらい重要である。積立金を多く積んで一気に使うのではなく、できるだけ早く森林整備に入れるように、計画的に使用していただきたい」との要望が出されました。

予算案については、交通安全対策事業費などを審査し、分科員からは、ヘルメットを被っている高校生の姿をあまり見ない現状の中、利用者側の気持ちも聞く中で、ヘルメット着用が広がっていくよう取り組んでいただきたいとの要望が出されました。



常和区の田子川の改良復旧状況を確認

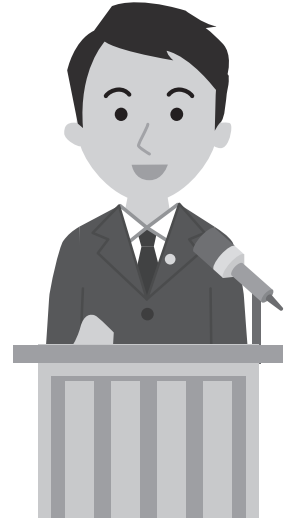
社会分科会 分科会長 高柳 博行

決算審査では、佐久広域連合成年後見支援センター運営費負担金について、成年後見制度は使いづらく、要望書の提出があったように制度そのものに課題があるので、事業を行う佐久広域連合も含め改善策を講ずるよう、分科員から要望がありました。また、自殺予防対策事業については、子どもの自殺者が全国的に増えており、子どもたちの精神面の不安定な部分への懸念については、教育委員会との連携を図り地区担当保健師が対応していること、さらにはSNSやホームページで多くの方に目にしてもらえよう相談窓口の周知に心掛けていくことを確認。

予算審査では、子育て支援短期入所事業委託料について、親族が身近におらず、児童の養育が困難な場合の一時預かりに関し、今後の利用を、8件で延べ28泊を見込み、支援が必要な家庭や親の病気等で相談のあるケースを考慮し、最長で7泊が可能な補正予算であることを確認しました。福祉施設事業費の修繕料については、老朽化により故障したあいつとあ臼田の温水ヒーターであることを確認し、分科員による現地調査を実施しました。

16名の議員が市政を問いました

一 般 質 問



- 一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。また、正式な記録は会議録をご覧ください。
- 佐久ケーブルテレビやインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。

ひとくちメモ

一般質問とは

議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことをいいます。



動画配信 QRコード

都市公園について 地域介護予防指導者の育成について

Q 今後新規に都市公園を整備する可能性について。

A 都市公園を新規に整備するとなると、土地の確保や財源が必要である。国の補助金により都市公園を新規に整備するとなると、市民一人当たり10平方メートル未満であることが採択条件であるが、佐久市では現在一人当たり10・64平方メートルであり条件を超えている。新規に公園を整備するとなると一般財源の確保が大きな課題である。

Q 国が異次元の子育て支援を掲げる中で、子育て環境において公園整備はとても重要な施策なので、今後の国の動向を注視するとともに、公園整備に必要な財源についても機会あるごとに国へ要望していく。

A 市は高齢者に、住み慣れた地域で生き生きと暮らしていただく。

Q 地域介護予防指導者の育成について。

けるよう介護予防指導者を育成し、地域ネットワークづくりや地域介護予防活動の充実が必要であると考えている。

育成に際しては、お達者応援団育成塾の8回、更に学べるレベルアップ講座の7回がある。修了生の中には地区サロンの世話人や介護予防教室を開催するなど地域で活躍する者もいる。市ではこれからも地域介護予防指導者の育成に取り組み、多くの方へ介護予防の普及、啓発を行っていく。



こばやし ひであき
小林 英朗



新型コロナウイルス感染症の現況について 市内のツキノワグマの現況について



しみず ひでさぶろう
清水 秀三郎

Q 5類感染症移行後の佐久保健所管内における新型コロナウイルス感染症の現況について。

A 現在、感染者数に関しては、佐久保健所管内8か所の医療機関の報告をもとに一週間ごとに公表する定点把握へと変更された。お盆明け以降2.2倍になってからほぼ横ばい。市内各施設の感染対策の現況については、個人の主体的な選択を尊重し個人や事業者の判断に委ねているが、重症化しやすい方が大勢いる施設においてはその特性等に応じ、感染対策を続けている。一般にマスクの着用が推奨される場面では市も推奨する。

際にクマを見かけたという情報について掲載している。直近3年間と今年度の出没状況については令和2年度が26件、令和3年度が27件、令和4年度が29件であり、今年度については8月末日現在18件の出没となっている。人の往来、住宅が現場に近接している等、クマの出没により人身被害が想定される場合は、県と協議し県の許可のもと佐久市猟友会と連携し、捕獲檻による捕獲後、銃による殺処分に対応をする。



千曲川流域治水・生活保護制度を当たり前の権利に・就学援助制度拡充を



ないとう ゆうこ
内藤 祐子

◆多面的、総合的な治水対策を

Q あらゆる関係者で取り組む流域治水方針が出されている。佐久市はどう取り組むのか。

A 公共施設雨水貯留浸透施設設置やため池の活用等に取り組んでいる。

Q 桜井遊水地水理模型実験では満水まで6時間とあるが、これまでの説明と異なる。認識は。

A 越流堤の改良で、2時間の差、疑問を呈するものではない。近日常に次の実験動画を佐久建設事務所ホームページで公開予定。

Q 「田んぼダム」は取組であって施設ではない。国の「手引き」を参考に組み組むべきではないか。

A 有効な手段とは思いますが、先進地等の情報収集に努める。

◆生活保護申請をためらわず相談できるように

Q コロナを経ても生活保護被保護世帯は増えていない。なぜ申請をためらうと考えるか。



全国に広がる生活保護申請を後押しするポスター

A 知られたくない、資産活用には抵抗がある等の意見は聞いている。

Q 全国保護率で長野県は下から2位。その県内で佐久市は更に低い。ポスター、チラシ、しおり等を、まずはカラッと明るく改善すべきではないか。

A 効果的な方法を検討する。

◆就学援助充実を

Q 就学援助給食費8割に留まっているのは19市中2市（佐久市と塩尻市）10割にすべきでは。

A 現時点で考えていない。佐久市は県内最低の認識か。評価は市民がすること。

令和5年度全国学力・学習状況調査結果の活用について



たかなぎ ひろゆき
高柳 博行

Q 当市の調査結果については。

A 小学校6年生は、国語、算数ともに全国・県と比べてほぼ同水準であった。中学校3年生は、全国・県と比べ数学は、ほぼ同水準だったが、国語、英語はやや下回る結果であった。

Q 調査結果の課題克服に向けた教育委員会の対応は。

A それぞれの学校の課題と、それに対する具体的な対策案を全ての校長が発表し、その効果も含め話し合い授業改善につなげていく予定だ。さらに、今回の調査結果を踏まえ授業改善を中心的に取り組んでいる「中学校主任研究会」を通じ、佐久市全体の分析結果や各校の分析結果をもとに教員間の情報共有を深め、授業改善を進め課題解決に取り組む。

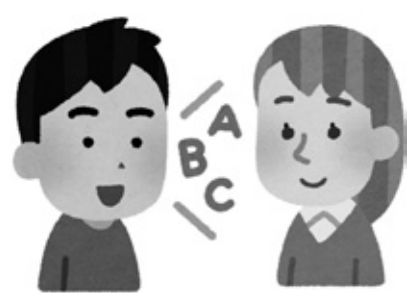
Q 当市における英語教育の課題については。

A 子どもたちが自然に英語に触

れる機会が少ない、A・L・Tが来日したばかりで、指導経験が不足している、英語専科の小中の連携の難しさなど課題が挙げられるが、英語教育施策の立案を様々な立場の方々と意見交換をして実践していく。

Q 分析結果の公表におけるグラフ化については。

A 分析結果については、今後更に分析を進め、来月中には市ホームページで公表する予定であるが、見やすさや、分かりやすさにも配慮したい。



春日温泉について・佐久市におけるスマートフォンの利活用について



おつか ゆういち
大塚 雄一

Q 春日温泉活性化基本構想策定の経過について。

A 老朽化が進んでいるもちづき荘と源泉加温施設について、各施設へ供給するための共同加熱センターの改修計画の策定に併せ、春日温泉全体の活性化を図るための基本構想の策定業務について、令和4年度にコンサルタント業者へ委託している。

Q コンサルタントと地元の関係者との話し合いは十分にされたか。

A 春日温泉観光協会等の皆様とコンサルタント業者を交え3回の検討会を実施した。今後とも意見交換を重ねていきたい。

Q 市としての今後の春日温泉の構想の考えについて伺う。

A 春日温泉が多くの皆様に親しまれ、訪れていただくよう、アンケートを取り意見等参考に、より良い構想となるよう努めていきたい。

Q 佐久市におけるスマートフォン

Q 教室の開催方法について。

A 教室の内容は、スマートフォンを利用したことがない方でも受講可能なレベルとしており、一人一人丁寧な対応が取れるよう、各講座の定員は8名としている。講座の周知については、広報佐久に募集記事を掲載しており、電話による申込みとしている。



今後の構想が期待される春日温泉

浅間総合病院の医療安全対策と、 コロナ感染症の病床確保料について



よしはる 春 義
きうち 木内

Q 医療安全対策の取組について。
医療事故等のインシデント・アクシデントは、国の業務指針と病院のマニュアルに基づき対応している。件数は、インシデント・アクシデントそれぞれ、令和2年度768件・4件。令和3年度864件・3件。令和4年度832件・9件となっている。対策事例では、玄関入口のエスカレーターの上り口下り口に転倒事故を防ぐためのポールの設置や、検査室の更衣室のカーテンの色を最適化し、間違えを防ぐなどにより効果を上げている。

A **Q** 病床確保料の実績について。
病床確保料は、コロナ感染者受入病床と、そのために休止した病床に対する国の補助金制度。令和2年4月より交付を受けており、令和2年度が1億775万円、令和3年度が9230万円、令和4年度が2億8953万円。病床確保料

を含むコロナ関連補助金の実績は、令和2年度が2億110万円、令和3年度が2億3444万円、令和4年度が2億9610万円となっている。別棟の廃止病床に感染防止の観点から受入病床を設置した。一般病棟に受入病床と多くの休止病床を設置した他の病院と比べ、補助金額の実績が少ない状況である。コロナ感染症患者の受入れは、発熱外来、入院それぞれ、令和2年度90名、174名。令和3年度2934名、619名。令和4年度5878名、1310名。



市民の健康を守る浅間総合病院

令和元年東日本台風(台風19号)災害 の復旧状況について



ひろこ 啓子
つちや 土屋

Q 台風19号災害の復旧状況について、被災箇所数と復旧状況について。
県が管理する一級河川の被災箇所は、181箇所中8月31日時点で施工中の改良復旧仕事を伴う滑津川・谷川・田子川等7箇所を除く174箇所であり、173箇所の復旧が完了している。市が管理している河川については215箇所あり、昨年度中に全て完了。

A **Q** 田子川の改良復旧工事が遅れているようだが、田子川・谷川の事業の現状と今後について。
田子川については8月末現在護岸の整備延長1・95kmのうち1.3kmが完了。架け替え橋梁7橋のうち、2橋が完了している。一方、建物等の移転や用地取得が完了しておらず未着手の部分がある。引き続き、地権者等と交渉を進めている状況である。作業員を増員したり、作業効率を上げるため、両岸を同時施工

することです今年度内の完成を目指している。
谷川については約1.5kmのうち1.4kmが完了。架け替え橋梁4橋のうち、2橋が完了。
Q 田子川・谷川・滑津川・志賀川の土砂堆積、草の繁茂が特に目立つが、しゅんせつについて。
田子川・谷川のしゅんせつ実績はない。滑津川の実績約3.1km。今年度の予定はない。志賀川は実績約3.3km。今年度は平賀地区、志賀地区の一部で発注予定をしており、実施箇所の選定を行っているところである。



志賀川 瀬戸付近



滑津川 平賀付近

子ども食堂に関して・新型コロナウイルススワクチン接種に関して

◆子ども食堂に関して

Q 子ども食堂に対する市の支援策はないのか。

A 運営資金に関しての助成はまずはありません。必要なら市の務めと考えています。今後は活動の際の公共施設の利用料減免や、行事の後援に関しても検討していきたい。

◆新型コロナウイルス関連

Q 新型コロナウイルス接種における健康被害救済制度の申請件数。

A 健康被害救済制度は副反応による健康被害が予防接種によるものであると厚生労働大臣が認定した方に対し、救済を行う制度である。8月末日現在で県内は149件、当市は3件である。

Q

今までの接種における使用ワクチンと今回世界で初めて人体へ接種することになる秋冬接種の使用ワクチンの違いに関して。

A 初回は、武漢株に対応したワクチンでトジナメランを含む。



かとう ゆきこ
加藤 夕紀子

その後の追加接種、オミクロン株対応の2価ワクチンは従来ワクチンと同成分、それに加えオミクロン株BA.1、BA.4-5系統に対応したリルトジナメラン、ファムトジナメランを含む。今回のXBB.1系統の1価ワクチンはトジナメランを含むものである。

◆その他の質問項目

・ACP（人生会議）の普及について
・環境に配慮した農業推進に関して

予防接種健康被害救済制度の認定数の比較

	過去44年間の全てのワクチン被害認定	コロナワクチン被害認定
統計期間	S52.2~R3.12	R3.12~
総認定数	3,522件	4,098件 (R5.8.31時点)
死亡認定数	151件	210件 (R5.8.31時点)

データ元：厚生労働省（2023年8月31日）発表

熱中症から児童を守る対応を誰もが確実に避難できる計画を

◆記録的な猛暑が続く中で、熱中症から児童を守る対応を

Q 炎天下、下校する児童への対策は。

A 水筒の持参、通気性の良い服装、ヘルメットを帽子に変更等、また、熱中症警戒アラート時等は、下校の時間を遅らせる等の対策を講ずるよう各学校に指示している。

Q

熱中症対策として、冷感タオルやランドセル用の保冷パッドを配布するべきではないか。

A 総括する中で、適切に判断していく。

Q

児童館のエアコンの温度設定はどうなっているのか。

A 28℃設定を基本に、状況判断を館長が行い、温度設定できるようにしている。

Q

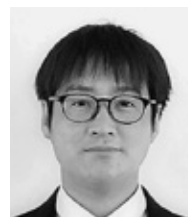
今後、猛暑日に児童館でどのような対策を行っていくのか。

A 本年度4館で新たに冷風機を設置した。引き続き暑さ対策に

◆災害時、誰もが確実に避難できる計画を

Q 高齢者や障がい者などで避難が困難な「避難行動要支援者」の「個別避難計画」の現状と今後の予定は。

A 令和4年度に5区、本年度は46区の作成に着手しており、来年度からは、全区の作成に着手し、令和7年度完成を目標に「福祉避難所」の即時開設、直接避難ができるように調整を図っている。



みついし さとし
三石 知志



果樹凍霜害の支援について 浅科診療所内の歯科の再開を

◆果樹凍霜害の支援について

Q 防霜ファンを設置してあっても、プルーンは全滅、りんごは8割被害などがあり、農家は大変ショックを受けている。立科町の果樹凍霜害支援事業を参考に、佐久市独自の支援をできないか。

A 今回の凍霜害は、度重なる低温が続いたことで被害が拡大した。市としては、現在、県が検討している支援策の内容を把握した上で、支援策を検討する。

Q 防霜ファン設置には国が50%の補助をしているが、県にも補助を要望できないか。

A 市としても県に要望したところである。

◆浅科診療所内の歯科の再開を

Q 浅科診療所では、佐久総合病院と浅間総合病院の医師が内科と整形外科の診療を行っている。2年前までは、浅科の歯科医師が診療所の一室を借りて、診療



こばやし まつこ
小林 松子

を行っていたが、医師が亡くなってから閉院となっている。高齢者の方は、より近い浅科診療所内に歯科が再開されることを願っている。再開する考えはあるか。

A 歯科診療室内の機器が残ったままの状態である。現在、原状回復に向け歯科医師の弁護士が手続を進めている。現時点では歯科医院の開設は考えていないが、原状回復後の診療室の利用について関係部署と検討する。

令和5年度 果樹凍霜害支援の状況

2023年9月11日現在

	被害額	支援内容	補正予算額	補正予算提出議会
立科町	1億5,316万円	防除薬剤費助成	2,300万円	9月議会
佐久穂町	3,741万円	燃焼資材等補助	17万5千円	6月議会
小諸市	5,938万円	消毒代助成	130万円	6月議会
佐久市	1億3,045万円			

データ元：新聞報道と当該会議議員への聞き取りにより本人作成

带状疱疹予防ワクチン接種費用の助成について

Q 市の带状疱疹予防ワクチン接種費用の助成導入の予定について。

A ワクチンは現在2種類が薬事承認されており、その一つであるシングリックスと呼ばれるワクチンは、効果が高い反面、接種費用は高額となっている。このことから関係学会や市長会等を通じ、佐久市でも国へ定期接種化への要望を行っている。このような中において助成制度を導入することは、慎重に対応していく必要があると考える。また、限りある財源のもと、単なる経済的支援ではなく、市として積極的に関わり推奨し誘導すべき事案かどうかを判断するに当たり、優先度が高い「ウイルスのまん延防止」か「個人の重症化予防」かの観点からすると带状疱疹は後者に当たると考えられ、加えて仮に助成制度を導入した場合、2種類のワクチン

の価格帯については幅があることから、助成をすることにより高いワクチンへの誘導につながることも考えられる。これらのことから、市としても現時点で独自の接種費用の助成は予定していないが、全国的にはいくつかの自治体において独自の費用助成が行われていることは認識している。引き続き带状疱疹ワクチンの早期定期接種化を、市長会等を通じ国に対して要望するとともに、県や県内他市の動向についても注視していきたい。



わたなべ やすのり
渡辺 康徳



運動あそびプログラムの継続 無添加石けんの使用の検討を！



よしかわ ともこ
吉川 友子

◆園児の体力向上について

Q 体力向上のために保育所で行っている運動あそびプログラムは、子どもたちが楽しく体を動かして体を鍛えながら、小さな成功体験から自己肯定感や協調性などを育み、脳の活性化もできるものだが、現在の取組は。

A 運動保育士により年1回各施設にて現地指導と、年1回全体研修会を実施している。

Q 保育士の学び機会確保のため、講師派遣の回数を増やすべきと思うが、今後の取組は。

A 運動あそびプログラムの有効性は認識しているのですが、継続していききたい。保育士の研修機会は重要という声もあるため講師派遣の回数も含めて検討する。

◆小中学校で使用する石けんについて

Q 学校で使用する石けんは化学物質過敏症の児童生徒や、合成界面活性剤不使用など環境に配

慮したものが望ましいと考えるが、どのように選定しているか。

A 化学物質過敏症については、ポスターやリーフレットで周知しているのですが、各学校で一定の配慮は行っていると考える。

Q 化学物質過敏症対応マニュアルを作成したり、環境負荷軽減のために廃油をリサイクルして石けんを作って使う自治体もある。石けん購入の基準を検討できないか。

A 基準には科学的根拠が必要であり、一般に販売しているものに制限をかけるのも難しい。



運動あそびプログラムの様子

佐久平ハーフマラソンについて 駒場公園プールについて



こばやし としはる
小林 歳春

◆佐久平ハーフマラソンについて

Q 参加者の応募状況は。

A 市内916名、市内を除く県内1105名、県外は1362名。ハーフに2322名、5kmに550名、1.5kmに511名。定員4000名に対し約85%の参加申込み。

Q コース沿線区への説明は。

A 区長会への説明と、当日は交通規制に伴いご迷惑をおかけすることから、交通規制に関する情報のチラシを作成し、各戸へのポステイング等で届ける。

Q 大会の盛り上げについて。

A 和太鼓演奏や、バルーンの係留、チアダンス等アトラクションを予定している。

◆駒場公園プールについて

Q 公園プールの経緯について。

A 昭和57年に県が芸術・文化の振興を図る目的で開園する際に設置した施設。平成16年に県より創造館を除く施設について市へ移管したいとの申入れがあり

大規模改修工事を経て平成25年に市へ移管された。

Q 今後の運営の在り方は。

A 近隣地域ではプールを廃止する自治体もあることから、市外から駒場公園プールを利用する方もいるためニーズが高まっていると考える。利用状況を確認し計画的な修繕に努め、継続的な運営につなげていく。プール内の防水シートの改修は、令和6年度に実施できるよう庁内担当課と調整を行っている。



佐久市の特別支援教育について

Q 発達障がいについて、学校の全教職員の意識向上や情報共有を行うための取組は。

A 年度の前に支援が必要な子の特性を共有。校内支援委員会を適宜開き、その子の状況を全職員で共有して対応している。

Q 当事者だけでなく、他の保護者にも発達障がいに関する基礎知識を持ってもらうことが大切だと思うが、取組は。

A 例えば、その子に配慮しつつもほかの子に不公平感を感じさせないよう、本人らの同意を得た上で事前に周りの子や保護者に理由も含めて対応方針を説明するなどしている。

Q 支援の第一歩となる個別指導計画が保護者に認知、共有されていないケースがあるが、どう取り組んでいるか。また現状把握のための調査をすべきでは。

A 保護者や本人の願い、視

点を踏まえて作り、見直すべき計画。適切に作り積極活用するよう各校に指導している。現場ではそのように作成されていると理解しており、改めて確認したい。

資料①
特別支援学級数と児童生徒数

【小学校】	特別支援学級数	児童数	特別支援学級数	児童数
2015年度	32	125 (2.3%)	5,387	3,91
2016年度	32	134 (2.5%)	5,219	4,19
2017年度	39	172 (3.3%)	5,296	4,53
2018年度	45	228 (4.3%)	5,262	5,07
2019年度	49	260 (4.9%)	5,129	5,49
2020年度	53	308 (6.0%)	5,147	5,81
2021年度	58	340 (6.7%)	5,073	5,86
2022年度	60	365 (7.1%)	5,107	6,08
2023年度	60	362 (7.3%)	4,992	6,03

【中学校】	特別支援学級数	生徒数	特別支援学級数	生徒数
2015年度	17	68 (2.6%)	2,643	4,00
2016年度	17	90 (3.3%)	2,702	5,29
2017年度	18	84 (3.2%)	2,656	4,67
2018年度	15	81 (3.1%)	2,589	5,40
2019年度	17	82 (3.2%)	2,540	4,82
2020年度	18	82 (3.2%)	2,511	5,11
2021年度	22	118 (4.7%)	2,515	5,36
2022年度	25	143 (5.9%)	2,429	5,72
2023年度	25	164 (6.7%)	2,464	6,56

近年急増している特別支援学級数と児童生徒数



しおかわ ひろし
塩川 浩志

Q 個別指導計画や支援会議、特別児童扶養手当などについて、特別支援学級の保護者が知っておくべきことを知らないケースがある。特別支援学級の全保護者に必要な情報を説明する機会を設けるべきでは。

A 本来伝わるべき情報が伝わっていない事実があるなら、きちんと伝える取組を徹底しなければならない。

Q 利用者増加に向けてどのような

◆荒船パノラマキャンプフィールドについて

◆観光消費額の拡大につながる具

Q 体験型・着地型観光につながる取組について伺う。

A 1点目として、観光資源を旅行者ニーズに合わせて組み合わせる「モデルコース」の構築。2点目として、旅行者向けに開発・運用している「佐久ハレタ」の活用をしている。

Q 体験型・着地型観光につながる取組について伺う。

A 1点目として、観光資源を旅行者ニーズに合わせて組み合わせる「モデルコース」の構築。2点目として、旅行者向けに開発・運用している「佐久ハレタ」の活用をしている。



荒船パノラマキャンプフィールド

◆観光消費額の拡大につながる具
体策について

◆ふるさと納税について

◆ふるさと納税について

◆ふるさと納税について



こがねざわ あきひで
小金沢 昭秀

ふるさと納税について 観光消費額拡大の具体策について

Q 寄附額を増加させるため、返礼品の掘り起こしなどを含め、どのような取組を行っているか。

A 利用者が返礼品を検索した際に、当市の返礼品が上位に掲載されるよう広告掲載方法に工夫をしている。「株式会社まちづくり佐久」と連携し、事業者訪問、新規返礼品の開拓を積極的に進めている。

Q 体験型・着地型観光につながる取組について伺う。

A 1点目として、観光資源を旅行者ニーズに合わせて組み合わせる「モデルコース」の構築。2点目として、旅行者向けに開発・運用している「佐久ハレタ」の活用をしている。

Q 体験型・着地型観光につながる取組について伺う。

A 1点目として、観光資源を旅行者ニーズに合わせて組み合わせる「モデルコース」の構築。2点目として、旅行者向けに開発・運用している「佐久ハレタ」の活用をしている。

Q 体験型・着地型観光につながる取組について伺う。

A 1点目として、観光資源を旅行者ニーズに合わせて組み合わせる「モデルコース」の構築。2点目として、旅行者向けに開発・運用している「佐久ハレタ」の活用をしている。

スポーツ全国大会激励金について 小中保、児童館のエアコンについて



しろた りょう
城田 領

Q スポーツ全国大会激励金の交付は、要綱に基づき交付されているが金額の見直しはできないか。

A 本激励金は激励を目的に交付し、他市と比較しても金額は上位に位置している。激励金の趣旨を前提とし、状況を調査し、情報を精査しながら研究を重ね、見直しは慎重に判断したい。

Q 小中学校、保育所、児童館のエアコン設置状況について。

A 小中学校の特別教室等は、順次計画を進めている。保育所は市内の公立15園、調理室未設置の11園は8月に設置完了し、児童館には、保護者や職員から児童の安全を守るため、暑さ対応を求める声が複数寄せられている。暑さ対策は引き続き検討を進めていく。

Q 通学に使う歩道が雑草で歩きにくい箇所があり、車の往来が激しい縁石付近での雑草の機械

刈りに苦慮している。歩道と車道境の除草剤散布について。

A 市内の国道・県道の管理者である佐久建設事務所では、基本的に刈払機による除草だが、環境への影響を考慮し、一部除草剤の散布を行っている。佐久市では基本的に除草剤散布は行っていないが、除草剤の用途等を理解し、地域の合意形成も整っている場合、希望区には安全性の高い除草剤を支給し、対応いただいている。



令和5年度 意見交換会

日時 令和5年11月11日(土)
午前10時30分から11時30分

会場 佐久創造館(佐久市農業祭開催会場)
104号室

内容 市民の皆様と議員との意見交換

意見交換テーマ 「議員の仕事について」、
「農業について」

あなたの声を
お聞かせください。



お申込みは、電話又はFAXで、お名前、電話番号をお知らせください。
なお、当日飛び入り参加もOKです。どなたでもお気軽にお越しください。

申込連絡先 電話：0267-62-3495 (議会事務局)
FAX：0267-62-7910

あなたも議会を 傍聴してみませんか。

★次の定例会（令和5年12月定例会）の日程（予定）は下欄のとおりです。

本会議同様、各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会も傍聴いただけます。

ただし、委員会は会場の都合で、希望者多数の場合は、開会前に抽選を行いますのでご了承ください。

※ご注意ください

本会議、委員会とも傍聴の際は、携帯電話の電源をお切りください。また、会議の様様を撮影、録音することはできません。

聴覚に障害のある方で、議会の傍聴を希望される場合、手話通訳及び要約筆記を配置いたします。事前に申込みが必要になりますので、詳しくはホームページでご確認ください。



議会だより表紙 大募集中!!

佐久市内で撮影した
行事・風景などの
写真や、イラストを
募集中です。

次回2月1日発行号の
締切りは、12月28日です。

詳細は、佐久市議会ホームページをご覧ください。か、議会事務局へお問い合わせください。



ご応募をお待ちしております。



上記に関する問い合わせ先 佐久市議会事務局
電話 0267-62-3495（直通）

次回定例会のお知らせ 【令和5年12月定例会】開催予定日

日	月	火	水	木	金	土
11月26日	27	28	29	30	12月1日	2
	本会議 (開会)					
3	4	5	6	7	8	9
			本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
10	11	12	13	14	15	16
		本会議 (議案質疑)	委員会	委員会	委員会	
		委員会				
17	18	19	20	21	22	23
	委員会			本会議 (閉会)		

※日程は、諸事情により変更となる場合があります。

手話を学ぼう

～会話をしてみよう～

定数



【定(定める)】
胸の前で両手の指（親指以外）同士をしっかりと組みます。



【数、算数】
両手の人差し指、中指、薬指と手の甲を相手側に向けて立て、両手を近づけます。

YouTube佐久市議会
チャンネルはこちら



聞かせてあなたの夢

佐久市の小学6年生が夢を語ります



鈴木 菜那 さん
(中佐都小学校6年生)

私の夢は、動物愛護に関わる仕事に就くことです。動物が好きで、守ってあげたいと思ったからです。家では犬と猫を1匹ずつ飼っていますが、2匹とも保健所から連れてきました。保健所にいる動物を少しでも幸せにしたいです。

犬と猫は家の中で飼っています。飼っていて大変なのは、毎日の遊びやトイレ掃除です。猫は大きくて、ときどき、かじってくることもあります。犬も猫もとてもなついて友だちみたいで、今では家族の一員です。病気になったら、病院に連れて行ったり、薬を飲ませたりして家族全員でお世話をしています。将来は、ペットショップのスタッフか保健所の職員になりたいです。

佐久っ子の夢、応援します!

●議長がモンゴル国スフバートル区を表敬訪問 7月10日

友好都市締結15周年を記念して、モンゴル国スフバートル区を江本議長が、柳田市長及び親善協会の皆様と共に表敬訪問しました。ポロルマー区長、エンフォルド議長とは、友好都市から姉妹都市への締結の実現に向けて、双方が連携協力していくことが確認されました。



●佐久市・小諸市女性議員意見交換会を開催 7月21日

佐久市議会女性議員連盟（女性議員5名）は、小諸市議会の女性議員（5名）との意見交換会を実施しました。意見交換会では、女性の活躍に視点を置き、活発な議論が交わされました。今後も定期的に意見交換を行っていきます。

●中部横断自動車道建設促進佐久地域議員連盟総会 7月25日

令和5年度総会が佐久穂町生涯学習館で開催され、佐久地域の市議会議員など約100名が出席しました。未着工区間の具体的なルート案が国土交通省から県に示されたことを受け、更なる整備促進や早期事業化を求める決議を行い、国土交通省長野国道事務所の小澤所長へ要望書を手交しました。



●議会改革・広報広聴特別委員会改革部会で行政視察を実施 7月27日

改革部会の所管事務の一つである「予算決算委員会の在り方」についての検討を進めるため、飯田市を視察。予算決算委員会における審査の流れや、議会による行政評価、議会改革に関する活動等について説明を受けました。

●総務文教委員会と佐久ケーブルテレビとの意見交換を開催 8月28日

地域情報や市内イベント情報を発信している佐久ケーブルテレビ。本年6月に新社長が就任したことから、総務文教委員会では、今後の運営方針等をテーマとして、佐久ケーブルテレビの皆さんと意見交換を実施しました。

